

# 暮らしの安心・信頼と 福祉に関するアンケート調査票

## アンケート調査へご協力のお願い

このアンケートは、皆さんが、周囲の人たちや暮らしている地域に関して、また、障がいや多様な環境の方への福祉に対してどのように思っているか、感じているかについておたずねします。

アンケート調査への参加は自由です。

さいハロ。Winへの参加にはなにも影響はありませんので

拒否して頂いてもかまいません。

また、無記名で回収するので、個人が特定されることはありません。

地域に暮らすすべての子ども・保護者が、より良い地域とのつながりを作るためにも、  
お考えや意見をいただければと思っています。

<実施> さい子ども会 泉 明佳

アンケート調査に協力する       アンケート調査は拒否する

ご協力頂ける方も、拒否の方のどちらも、差し支えなければ性別と年代を教えてください。

(1) 性別

1. 男	2. 女
------	------

(2) 年代

1. 29歳以下	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代以上
----------	--------	--------	--------	----------



## 1. 他人への信頼について

- (1) あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。  
あなたの考え方方に近いと思うレベルの数値を1つ選び、数字に○印をつけてください。

1. ほとんど の人は信頼 できる	2.	3.	4.	5.両者の 中間	6.	7.	8.	9.注意する に越したこ とはない	10. わからない
-------------------------	----	----	----	-------------	----	----	----	-------------------------	--------------



- (2) それでは、「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人に対してはいかがでしょうか？

1. ほとんど の人は信頼 できる	2.	3.	4.	5.両者の 中間	6.	7.	8.	9.注意する に越したこ とはない	10. わからない
-------------------------	----	----	----	-------------	----	----	----	-------------------------	--------------



## 2. 日常的なつきあいについて

- (1) あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。①と②について、  
次のうちから当てはまるものを1つずつ選び、その数字に○印をつけてください。

### ①つきあいの程度

- 1. たがいに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる
- 2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいは、している
- 3. あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
- 4. つきあいは全くしていない

### ②つきあっている人の数

- 1. 近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）
- 2. ある程度の人との面識・交流がある（概ね5～19人）
- 3. 近所のごく少數の人とだけ面識・交流がある（概ね4人以下）
- 4. 隣の人がだれかも知らない

- (2) 以下の①～③のそれぞれについて、あなたは普段どの程度の頻度でつきあいをされていますか。

### ①友人・知人とのつきあい（学校や職場以外で）

- 1. 日常的にある（毎日～週に数回程度）
- 2. ある程度頻繁にある（週に1回～月に数回程度）
- 3. ときどきある（月に1回～年に数回程度）
- 4. めったにない（年に1回～数年に1回程度）
- 5. 全くない（もしくは友人・知人はいない）

### ②親戚・親類とのつきあい

- 1. 日常的にある（毎日～週に数回程度）
- 2. ある程度頻繁にある（週に1回～月に数回程度）
- 3. ときどきある（月に1回～年に数回程度）
- 4. めったにない（年に1回～数年に1回程度）
- 5. 全くない（もしくは親戚・親類はいない）

### 3. 地域での活動状況について

あなた自身の、地域における活動状況についてお聞きします。

- (1) あなたは現在、下表の A から D のような活動に参加されていますか。

	A.地縁的な活動 (町内会、敬老会、青年団、子ども会等)	B.スポーツ・趣味・娯楽活動 (各種スポーツや文化活動、生涯学習等)	C.ボランティア・NPO・市民活動 (まちづくり、高齢、障害、環境、防犯、防災、提言活動等)	D.その他の団体・活動 (商工会・業種組合、宗教、政治等)
1. 参加している	1.	1.	1.	1.
2. 参加していない	2.	2.	2.	2.

- (2) 下表の A から D の活動への参加に関し、ご自身の今後の意向についてお聞かせください。

	A.地縁的な活動 (町内会、敬老会、青年団、子ども会等)	B.スポーツ・趣味・娯楽活動 (各種スポーツや文化活動、生涯学習等)	C.ボランティア・NPO・市民活動 (まちづくり、高齢、障害、環境、防犯、防災、提言活動等)	D.その他の団体・活動 (商工会・業種組合、宗教、政治等)
1. 積極的に参加する	1.	1.	1.	1.
2. 最低限は参加する	2.	2.	2.	2.
3. 参加しない	3.	3.	3.	3.
4. わからない	4.	4.	4.	4.

### 4. ご自身の生活について

- (1) あなたは、現在のご自身の生活に満足していますか。

あてはまるものを1つだけ選び、その数字に○印をつけてください。

1. 非常に満足している	2. 満足している	3. やや不満足である	4. 不満足である	5. どちらともいえない
--------------	-----------	-------------	-----------	--------------

- (2) あなたは、日常生活を送るにあたって、問題や心配ごとがありますか。

次のうちから、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

1. ご自身の健康・身体の状況	7. 近隣の人間関係
2. ご家族の健康や世話	8. 近隣の住環境・生活環境
3. 乳幼児期の子育て	9. 地域での非行や犯罪の増加
4. 子どもや孫のしつけ・教育	10. その他 ( )
5. 家計・しごと・就職	
6. 家庭内の人間関係	11. 問題や心配事はない

## 5. 寄付・募金活動について

- (1) あなたは、この1年間に現金もしくは現物（物品等）による寄付・募金をしましたか。  
コンビニの募金箱や赤い羽根共同募金、クラウドファンディングなど各種寄付・募金のうちあなたが個人的に善意で行った寄付・募金活動についてお答えください。

- 1. 金銭による寄付をした
- 2. 現物による寄付をした
- 3. 金銭、現物の両方寄付をした
- 4. 寄付はしていない

## 6. 地域共生社会と福祉に関して

誰もが暮らしやすく、共に支えあう地域社会を目指すために、  
あなたがどのような意見や考え、経験を持っているかについて、教えてください。

- (1) あなたの身近に、障がいのある人はいますか（又は、いましたか）。

- 1. いる（いた）
- 2. いない

① 「1. いる（いた）」と答えた方は、どのような関係の方ですか（複数回答可）。

- 1. 本人
- 2. 家族・親戚
- 3. 職場の同僚
- 4. 同級生
- 5. 隣近所の方
- 6. 仕事上の関係
- 7. その他（ ）

- (2) あなたは障がいのある人の支援（お手伝い）をしたことがありますか。

- 1. ある
- 2. ない

① 「2. ない」と答えた方へおたずねします。その理由を教えてください（複数回答可）。

- 1. 機会が無かった
- 2. 急いでいた
- 3. 声のかけ方がわからなかった
- 4. おせっかいになると思った
- 5. 困ってなさそうだった
- 6. その他（ ）

- (3) あなたは、自宅の近隣に障がいのある人向けの福祉施設ができたら、どのように感じますか。

- 1. 好意的に感じる
- 2. どちらかと言えば好意的に感じる
- 3. どちらかと言えば否定的に感じる
- 4. 否定的に感じる
- 5. 拒否したい

① また、その場合に気になることや不安はあると思いますか。

- 1. 気になることや不安は無いと思う
- 2. あると思う（ ）

- (4) あなたは、障がいに関わらず、どんな人でも身近に普通に生活を送るのが当たり前だという「共生社会」の考え方についてどう思いますか。

- 1. 共感する
- 2. どちらかと言えば共感する
- 3. どちらかと言えば共感しない
- 4. 共感しない
- 5. わからない  
知らない

- (5) 下表に書かれている内容について、あなたの考えを「1. とてもそう思う」～「4. 全く思わない」の4段階から選び○印をつけてください。

	1. とても そう思う	2. 一定程度 そう思う	3. あまり 思わない	4. 全く 思わない
身心の不自由な人びとの考え方や意見を聞いてみたい	1.	2.	3.	4.
経済的貧困者（生活保護受給者など）が抱えている生活上の問題についてもっと知りたい	1.	2.	3.	4.
身寄りのない人のためのボランティア活動に参加したい	1.	2.	3.	4.
障がい・認知症の理解や人権教育なども含めた福祉教育が必要だ	1.	2.	3.	4.
困っている人や助け合いの方法についての情報提供が欲しい	1.	2.	3.	4.
私は、この地域に住む人々と価値観を共有し、ともに生きるという思想をもっている	1.	2.	3.	4.
障がいを持っていても人間の尊さには違いない	1.	2.	3.	4.
保護観察中の人も地域社会の一員として受け入れられる	1.	2.	3.	4.
自治体は、限られた予算の中でも福祉施設・サービスの充実に重点を置くべきだ	1.	2.	3.	4.
地域に虐待、孤独死などが発生した場合、住民はその問題と一緒に解決するべきだ	1.	2.	3.	4.
条例、施策・事業、計画づくりなどの過程に当事者・住民が参加できる機会が保証されることは重要だ	1.	2.	3.	4.
少数者に対する偏見や差別をなくすのは、地域全体の責任だ	1.	2.	3.	4.

- (6) あなたは、今回のような誰でも自由に参加できるイベントで、障害や多様な環境の人と交流する機会が増えると、福祉への理解が深まると思いますか？

1. とてもそう 思う	2. 少し そう思う	3. どちらでも ない	4. あまり そう思わない	5. 全く そう思わない

- (7) 誰でも自由に参加できるイベントと、具体的に障害や様々な環境の人への理解を深めるイベントがある場合、参加したいと思うものを選んでください（複数回答可）。

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 誰でも自由に参加できるイベント             |
| 2. 具体的に、障害や様々な環境の人への理解を深めるイベント |
| 3. どちらでもない                     |